

令和 6 年度使用小学校教科用図書採択に係る選定理由書

種目	国語	第 1 : 東京書籍	第 2 : 光村図書
理 由	<p>対象となった 3 社 3 種類の図書は、どれも学習指導要領に示された各学年の目標及び内容を漏れなく配列しており、基礎的・基本的な言語能力が確実に習得できる内容・構成となっている。その中でも、第 1、第 2 の図書が、主体的な学びを引き出す工夫、内容の構成・配列・分量及び言語活動の充実に係る工夫について、特に優れていた。そこで、全体的に見て、第 1、第 2 の図書を選択した。</p> <p>第 1 図書は、見開き 2 ページに渡る単元扉にダイナミックな写真や挿絵を掲載し、教材への興味、学習意欲を引き出すとともに、単元で身に付けたい「言葉の力」や「学習の流れ」を簡潔に示して、学習の見通しがもてるように工夫されている。また、単元の終わりにも見開き 2 ページに具体的な学習の流れを示すとともに、ノート例、発言例を掲載して、児童が自ら学んでいくことができるように工夫されている。</p> <p>また、1 単元 1 領域を原則として指導事項を重点化するとともに、重点指導事項に即した具体的な言語活動が設定されている。さらに、「読むこと」の単元と「書くこと」の単元の間、小単元「情報のとびら」を配置し、両単元を関連させる学習を設定し、単元間につながりをもたせる工夫がされている。</p> <p>第 2 図書は、各単元末に「学習のてびき」として、「問い」と「目標」を示すとともに、言語活動を例示して学習の見通しがもてるように工夫されている。また、伝統的な言語文化に親しむ教材として、優れた古典教材をはじめとして、多くの言語作品を掲載している。さらに、SDGs に関連する内容をテーマにした教材を各学年に位置付けるとともに、巻末に SDGs に関連した図書を紹介するコーナーを設ける等、教科横断的な学習の視点からの工夫が見られる。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、学習理解を深めたり教材への興味・関心を高めたりするための挿絵や写真、図等の活用に工夫があるため優位である。</p>		

種目	書写	第 1 : 光村図書	第 2 : 教育出版社
理由	<p>対象となった 3 社 3 種類の図書は、いずれも学習指導要領に示された指導事項を漏れなく取り上げ、書写の基礎的・基本的な内容を確実に習得できるような工夫がされている。また、書写の学習で学んだ基礎的・基本的な内容を国語科や他教科等の学習や日常生活の中で活用できるように、言語活動の工夫が見られた。その中でも、第 1、第 2 の図書が、基礎的・基本的な内容の定着や主体的に学習に取り組む工夫、言語活動の工夫について、特に優れていた。そこで、全体的に見て、第 1、第 2 の図書を選択した。</p>		
	<p>第 1 図書は、始筆、送筆、終筆の動きが様々なキャラクターの動きで示され、「すうっ」「ぴたっ」「とん」などの擬態語、擬音語を活用して筆使いのイメージを掴みやすいように工夫されている。二次元コードにより、上からと斜めからの映像の動画で筆使いを確認することができる点も基礎的・基本的な内容を定着させるための工夫として挙げられる。さらに、各単元に、学習の進め方として、「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」の 3 段階が示されており、主体的な学びを引き出す工夫も見られる。</p> <p>また、各学年において、国語科や他教科等の学習との関連教材を位置付け、日常生活や各教科等との関連を図った言語活動を設定していることに加えて、第 6 学年においては、1 年生から 6 年生までに学習したことを日常生活に広げていくことができるよう、「書写ブック」としてまとめている。</p> <p>第 2 図書は、学習の進め方として「つかむ・考える」「書く・たしかめる」「ふり返る」「生かす・広げる」の 4 段階を示し、主体的な学びを引き出すよう工夫している。また、国語科や他教科等の学習や日常生活に生かす単元（「レッツ・トライ」「知りたい文字の世界」「書いて伝え合おう」等）が設定されており、学習や日常生活に生かす言語活動の工夫が充実している。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、学習のポイントや学習の進め方の示し方等、内容の表現・表記について工夫があるため、優位である。</p>		

種目	社会	第 1 : 東京書籍	第 2 : 日本文教出版
理由	<p>対象となった 3 社 3 種類の図書は、学習指導要領の目標、内容を踏まえた問題解決的な学習の手法を取り入れ、教科書で学ぶ工夫がされている。特に基礎・基本の習得の手立て、資料提示・活用の方法、言語活動の充実において、選択した第 1、第 2 の図書が優れている。</p>		
	<p>第 1 図書は、基礎的・基本的な内容が定着できるよう、重要語句を「ことば」として明示し、「まなびのポイント」として学習活動などを掲載している。また、主体的に学習に取り組む場面では、「つかむ・調べる・まとめる・いかす」の 4 過程に分けて社会科学習の進め方について解説してある。単元の最初「つかむ」のページには、全小単元で動画が準備されており、見通しをもち、主体的な学びを引き出すようにしている。さらに、資料が精選され、身近な広島県にかかわる内容も多く掲載されている。その上、二次元コードにより、Web 上に動画、デジタルコンテンツなどが多く準備され、活用できるようにしている。高学年では、学年毎の教科用図書を 2 分冊で編集されており、持ち運びが容易である。まとめでは、多様なワークシートやまとめ方が準備され、言語活動が充実している。</p>		
<p>第 2 図書は、基礎的・基本的な内容の定着を図るため、重要語句を示す「キーワード」を設け、学びの進め方として「問題発見→追究・解決→さらに新たな疑問→追究→役だてる」という流れで構成されている。</p>			
<p>しかしながら、第 1 図書の方が、掲載されている資料の精選、構成・配列や二次元コードを用いた多様なワークシートによる学び方、言語活動において工夫が見られるため、優位である。</p>			

種目	地図	第 1 : 帝国書院	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 2 社 2 種類の図書は、地図に対する興味・関心をもたせる工夫、社会科学習で取り扱う事物・事象を取り上げた地図の拡充、児童にとって分かりやすい地図の表記、言語活動を図る資料提示などの面から地図を活用することを促すように工夫されている。</p>		
	<p>第 1 図書は、地図に関する基礎的な見方、地図帳の基本的な使い方のページが充実しており、構成や配列、表記などの工夫により児童の発達段階を考慮し、3 年生からの地図活用を促すことができるようにしている。吹き出しや地図に関する問題形式で児童の視点に立った課題により、特徴的な地形や産業などを地図から見いだすことができ、興味・関心を高めながら、主体的に学習を行うことができる。また、地図上に本市が明瞭に表示されており、地図全体も色合いや精選された記号、地名の適切な大きさ、太さにより、全体的に地図を読み取りやすくしている。さらに、二次元コードによる Web 上の資料の拡大により、学びを深め、広げることができる。</p>		
<p>第 2 図書は、地図に関するイラストを多用し、基礎的・基本的な事項を親しみやすく示しており、興味・関心を高める事項を吹き出しの形で表している。地図に関連した学習問題が各ページに掲載され、地域の特徴的な内容を掲載している。</p>			
<p>しかしながら、第 1 図書の方が、第 3 学年から活用するための工夫や社会科学において様々な社会事象に対する配色や構成など、地図を関連付けて学ぶ使いやすさの点で工夫が見られるため、優位である。</p>			

種目	算数	第 1 : 東京書籍	第 2 : 大日本図書
理由	<p>対象となった 6 社 6 種類の図書は、学習指導要領の目標、内容を踏まえて、問題解決的な学習の手法を取り入れ、教科書で学ぶ工夫がされている。特に主体的に学習に取り組む工夫、内容の構成・配列・分量、内容の表現・表記、言語活動の充実について選択した第 1 図書が、内容の構成・配列・分量、内容の表現・表記について第 2 図書が優れている。</p>		
	<p>第 1 図書は、主体的に学習に取り組む工夫について、動画「オープニングムービー」（授業の導入でも使えるような 3 分程度の内容）を適宜設定し、単元に入る前に教科書に表記されている内容とは異なる日常場面での課題発見や学習動機を高める工夫がされている。内容の構成・配列・分量については、1000 を超えるコンテンツが準備されるとともに、デジタルコンテンツ上の補充問題もある。また、児童がつまずきやすい内容については、全国学力・学習状況調査や標準学力調査の結果を分析し、教科書の紙面上やデジタルコンテンツで繰り返し練習する場を適宜設ける工夫がある。内容の表現・表記については、吹き出しの内容における適切な見通し量に配慮し、児童の発想の源に意識を向ける程度にとどめている工夫がある。言語活動の充実については、「大切な見方・考え方」の内容を固定化しない配慮や巻頭に示された P D C A サイクルに添った学び方を抽出単元でリンクして表示し、言語活動を充実させる工夫がある。また、間違った考えを修正する内容を意図的に取り入れることで、言語活動への必要感をもたせる工夫も見られる。</p>		
<p>第 2 図書は、内容の構成・配列・分量については、1000 を超えるコンテンツを準備するとともに、デジタルコンテンツ上の補充問題もある。内容の表現・表記については、第 6 学年の教科書において中学校の学習へのつながりも表示し、校種間の学びの連続性を意識させる工夫がある。また、各教科書で充実しているデジタルコンテンツ表示について、掲載されている二次元コードの内容が分かる表示を行い、使いやすさへの工夫がある。言語活動の充実については、「大切な見方・考え方」の内容を固定化しない配慮がある。</p>			
<p>しかしながら、第 1 図書の方が、主体的に学習に取り組む工夫、言語活動の充実において、工夫が見られるため、優位である。</p>			

種目	理科	第 1 : 大日本図書	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 5 社 5 種類の図書は、学習指導要領への対応が適切に行われており、習得すべき基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られる工夫や、単元内で問題解決の各段階を示し学習の流れをつかみやすくすることで見通しをもって学ぶことができる工夫、写真や図表などを児童に親しみやすい構成にする工夫などがされている。また、「理科の見方・考え方」を働かせて考えたり話し合ったりして思考力・判断力・表現力等を育成する言語活動の充実や他教科との関連、今日的な課題である S D G s やプログラミング教育についても学びを深めることができるよう工夫がされている。さらに、二次元コードを使ってのデジタルコンテンツも充実している。</p> <p>特に、第 1、第 2 の図書は紙面が大きく、写真や図を観察しやすくなっていること、児童の興味・関心・疑問等をもたせる単元の導入、体験活動が仕込まれていること、考える視点をキャラクターが提示すること等の点で優れている。</p> <p>また、問題解決能力の育成に向け、主にその学年で育成する問題解決能力を発揮する場面や過程に特別な表示がしてあり、児童も指導者も意識して学習を進めることができるよう工夫されている。さらに、話合いの進め方が例示されており、児童の学習の進め方の習得の参考になっている。</p> <p>特に第 1 図書の優れた点として、1 点目に問題と結論（分かったこと）が正対しており、結論（分かったこと）とそれ以外の説明を区別して記していること、2 点目に問題発見や考察場面で科学的な見方を働かせて考えたり話し合ったりできるように、「ここに注目」と表示して着眼点を示していること、3 点目に考察場面で、考察の話合い例を提示するとともに、予想の振り返りをする吹き出しがあることが挙げられる。</p> <p>以上のことから、他の図書より優位性が認められる。</p>		

種目	生活	第 1 : 東京書籍	第 2 : 啓林館
理 由	<p>対象となった 6 社 6 種類の図書は、児童の活動している写真及び吹き出しを通して、学習指導要領で示された資質・能力を育成するために主体的な学びを引き出すような工夫がされている。また、ユニバーサルデザインの色彩や字体を取り入れるなど特別支援教育に配慮した図書となっている。そのうち、第 1、第 2 の図書は他の 4 社の図書と比べ、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための工夫や、児童の主体的な学習を引き出す工夫、多様な言語活動を行うための表現・表記の面でより工夫が見られた。</p>		
	<p>第 1 図書は、小單元ごとに「本文」と「マーク」(?、♡、!) を用いてその活動で育成を目指す資質・能力を明確に記しており、児童にはめあてと振り返りが、教師には指導と評価の一体化が図ることができるようになっていいる。巻末には各社とも思考力・判断力・表現力等の育成に資する観察の仕方や考え方、多様な表現方法などが記載されているが、第 1 図書は一番例示が多く、詳しく児童に指導できる記述となっている。また、単元の途中にも思考の観点やまとめ方等を具体的に記述しており、児童が活動途中で巻末をめくらなくても見ることができるので、活動を中断することなく学びをつなぎ、定着を図ることができると思う。</p>		
	<p>第 2 図書は、児童が主体的に取り組む観点から、単元の導入から振り返りまでの活動の流れが児童にとって見やすく、紙面右下のめくり言葉で活動の中で生まれた気付きや思いが単元を通して連続的かつ発展的に深まるよう工夫されている。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書の方が、基礎的・基本的な内容を確実に定着させたり、身近な人・ものとの関わりを感じさせたり、言語活動を充実させたりする工夫が見られるため、優位である。</p>		

種目	音楽	第 1 : 教育芸術社	第 2 : 教育出版社
理由	<p>対象となった 2 社 2 種類の図書は、音楽科における基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために指導内容が工夫されている。また、表現と鑑賞の 2 領域を相互に関連させながら、音楽活動の基礎的な能力を培うための学習内容や方法、構成についても工夫されている。</p>		
	<p>第 1 図書は、題材や教材が、系統的・発展的に構成されている。題材のねらいに即して、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材がバランスよく配置されているため、基礎的・基本的な内容が無理なく定着できるように工夫されている。また、題材の中には、発展的に学習できるような内容も掲載されている。さらに、感じたことや気付いたこと、楽器を選んだ理由等、根拠や気付きを記述する欄が設けてあることや、グループ活動時の会話を想定した吹き出し、図形譜や挿絵を用いた説明などが充実しており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。</p>		
	<p>第 2 図書は、題材における学習のめあての大切な言葉に色を付けてあり、学習内容が分かりやすく示されている。第 3 学年以上には協働的な学びのための例示がある等、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。また、折込を使ったワイドな紙面に写真を掲載したページがあり、児童のイメージが広がり、興味を引く資料提示の工夫がされている。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書の方が、題材構成において、各題材の教材の広がりが多く、発展的に学んだり、深く学んだりしていくための工夫が見られるため、優位である。</p>		

種目	図画工作	第 1 : 開隆堂	第 2 : 日本文教出版
理由	<p>対象となった 2 社 2 種類の図書は、発想、構想、制作や鑑賞などの様々な場面で、児童が生き生きと活動している写真が多く掲載されており、児童の学習意欲を引き出す工夫がされている。また、材料や用具の基礎的・基本的な使い方を説明するページを巻末に設けることで、教科の基礎的・基本的な内容を定着させるための工夫がされている。さらに、図画工作科で育てたい資質・能力に対応させた三つの「めあて」とそれに対応する「ふりかえり」を見開きの題材ページで示し、児童に学習の見通しをもたせやすくするとともに、各題材と他教科等とのつながりを示すことで、教科横断的な学習への手立てとなるように構成が工夫されている。</p>		
	<p>第 1 図書は、題材ごとに発想の手掛かりとなる工夫や気付き、思考の内容を、制作している児童の写真に吹き出しを付けて示すことで、児童の学習意欲を高める工夫をしている。</p> <p>また、すべての学年において巻末に「学びの資料」を 8 ページ設け、表現に必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明しており、特に安全面や片付け方について注意喚起する工夫がされている。さらに、用具の使い方を動画で見るための二次元コードも掲載されている。</p> <p>そして、各題材で育てたい資質・能力に対応させた三つのめあてのうち一つを中心的なめあてとして強調して示し、そのめあてに対応したキャラクターが児童に語りかけることで児童の学習を深める支援を行うように工夫されている。さらに、各題材の紙面下段右に「あわせて学ぼう」として関連する教科名等とともに具体的な学習活動を想起させる文章を示すことで、教科横断的な学習への手立てとなるように構成が工夫されている。</p> <p>第 2 図書は、題材ごとに制作している児童の写真に吹き出しを付けて児童の思いや感じ方を示すことで、児童の学習意欲を高める工夫をしている。</p> <p>また、すべての学年において巻末に「材料と用具のひきだし」を 9 ページ設け、表現に必要な用具の扱い方や技法、材料についてイラストや写真を使って説明している。さらに、用具の基礎的・基本的な使い方を動画で見るための二次元コードも掲載されている。</p> <p>そして、題材ごとに学習のめあてを資質・能力の三つの視点に基づいて設定し、三種類のマークを使ってそれぞれのめあてを文章で示し、特に大切なめあてを吹き出しで表すことで児童の学習を深める支援を行うように工夫されている。さらに、題材ごとに紙面下段右に関連する教科名等が示され、教科横断的な学習への手立てとなるよう構成が工夫されている。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、安全面の注意喚起についての記載が多い傾向が見られた。また、関連する教科等における具体的な活動内容が示されており、図画工作科を通して教科横断的な学習をカリキュラム・マネジメントしていくことにおいても、優位である。</p>		

種目	家庭	第 1 : 開隆堂	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 2 社 2 種類の図書は、学習指導要領で示された「生活の営みに係る見方・考え方」を取り扱えるようにしたり、学校での学びを家庭での実践に結び付けるようにしたりして、児童の主体的な学びを引き出す指導方法が工夫されている。また、デジタルコンテンツも活用し、家庭科における基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る構成・表現・表記となっている。</p> <p>第 1 図書は、生活の課題と実践例四つを紹介し、課題発見から解決、振り返りまで行うような例が示されており、学習したことを生かして主体的に興味をもって学習が進められるよう工夫している。また、伝統的な衣食住などの文化に関する特設ページを設け、日本の伝統や文化に興味をもたせることができるようになっている。</p> <p>第 2 図書は、基礎的・基本的な内容の習得のために、単元ごとに注意すべき「+安全マーク」を設け、活動において気を付ける点を一つ一つ確実に確認できるように工夫している。また、タブレットを活用して一人一人が考えたり、グループで意見を交換したりするためのデジタルコンテンツを充実させ、思考力・判断力・表現力等の育成を図る工夫をしている。</p> <p>しかしながら、主体的に学習に取り組む工夫について比較すると、第 1 図書は、「キャリアインタビュー」で衣食住の生活や消費生活・環境等に関わる仕事をする方々の話を多く掲載しており、持続可能な未来について考え、学びを将来につなげてとらえることに有効である。また、観点 3（内容の構成・配列・分量）において、第 1 図書は、衣・住及び SDGs に関する内容をスモールステップで扱うことで充実した学習ができるようになっているので、優位である。</p>		

種目	保健	第 1 : 東京書籍	第 2 : 大修館書店
理由	<p>対象となった 6 社 6 種類の図書は、教科の基礎的・基本的な内容を確実に定着させるための指導内容の工夫がされている。また、問題解決的な学習、体験的な学習などを取り入れるなど、児童の主体的な学びを引き出す指導方法の工夫もされている。</p>		
	<p>しかしながら、第 1、第 2 の図書と比べ、他の図書は、「内容の構成・配列・分量」「内容の表現・表記」「言語活動の充実」において特筆する点が少なかった。そこで全体的にみて第 1、第 2 の図書を選択した。</p>		
	<p>第 1 図書は、児童が発展的に探究学習に取り組むことができる掲載資料が充実している等、教育の充実に関する内容の構成・配列を工夫している。また、教科横断的な学習の充実に関する内容の構成を工夫している。さらに、教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力等の育成に資する言語活動を工夫しているとともに、直接、教科書に記述できる等の工夫が充実している。</p>		
	<p>第 2 図書は、教育の充実に関する内容の構成・配列を工夫している。また、教科横断的な学習の充実に関する内容の構成を工夫している。</p>		
	<p>しかしながら、第 1 図書の方が、教科の特質に応じて、思考力・判断力・表現力等の育成に資する言語活動の工夫が見られるので、優位である。</p>		

種目	道徳	第 1 : 光文書院	第 2 : 東京書籍
理由	<p>対象となった 6 社 6 種類の図書は、特に「考え議論する」活動にどのように取り組むかという例示や学習過程の示し方に工夫が見られた。また、現代的な課題についてテーマ性をもたせ、社会や世界の動きについて学ぶ教材やコラムの配置、関連コンテンツの提示等、学びを深めやすい工夫がされていた。</p>		
	<p>しかしながら、第 1、第 2 の図書と比べ、他の図書は、考える内容を示し過ぎていたり、現代的な課題に対する系統的な教材配列や他者と協働する活動への発展性等がやや薄かった。</p> <p>そこで全体的にみて第 1、第 2 の図書を選択した。</p> <p>第 1 図書は、学習の流れの中に「授業が終わっても」という文言を入れて自分の生活に生かす示唆を与えている。具体的には、全学年で教材に付随した興味・関心を引くコラムがあると同時に、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を他教科や生活との関連で取り入れる等、生活に繋ぐ工夫がされている。発問は、登場人物の心情の変化を追うだけでなく、道徳的価値そのものについて深く考えられる問いかけになっており、発達段階に応じた思考ツールや話し合う際に使いたい言葉が例示されており、それらを活用して主体的に学びを深められるような工夫がされている。</p> <p>さらに、現代的課題の中の一つ「へこんでも立ち直る」は低・中・高学年で系統性をもたせ、理解を深められるような配列となっているとともに、各学年に設けられたレジリエンスコラムにおいて自分の良さや可能性が認識でき、自分の心の力について考える工夫がされている。また、重点主題である「いじめを生まない心」「命を輝かせる」を全学年共通で設定し、重点主題教材では、扉ページ→教材 1→教材 2 と複数時間で扱うことで問題意識をもって学び、多面的・多角的にとらえるように構成が工夫されている。</p> <p>第 2 図書は、学習の流れを示し、流れに沿った会話例があるため、進め方をイメージしやすい。発問においては、道徳的価値に迫る中心発問が◎、自己を見つめる発問が○となっており、自分との関わりで考えを深め、自己を見つめることができるようになっている。また、各学年巻末には、自分の考えを可視化するためのツールが例示されており、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方に気付くことができるよう工夫されている。また、各学年に「問題を見つけて考えよう」のページが設けられ、教材文を基に問題を見つけ、多面的・多角的に考えながら話し合う学習過程が、子供のつづやき等で示されている。加えて、「動作化」や「役割演技」が各学年に設けられ、体験的に道徳的価値を深める工夫がされている。さらに、教材を自分のこととしてとらえられるように「つながる ひろがる」というページが設定され、他教科の学習とつなげたり普段の生活に広げたりできる工夫がされている。</p> <p>また、「五つのユニットで心の力持ちになろう」として教材とコラムを組み合わせた「ユニット」が編成されており、複数の教材が配置されているため、考えを深めやすい。また、全学年同じ時期に配当されているため、いじめ防止週間や、人権週間等に合わせて扱うことができるよう配列が工夫されている。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、自分について深く考え、なりたい自分を持ち、学んだことを生活に生かすという意識を高めやすい工夫がなされているので、優位である。</p>		

種目	外国語	第 1 : 東京書籍	第 2 : 三省堂
理由	<p>対象となった 6 社 6 種類の図書は、基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指して各単元の冒頭に学習目標を提示し目指す姿を示したり、主体的な学びを引き出すためにチャンツや歌、表現を自ら学ぶための補助資料として準備したりするなど工夫がされている。また、内容の構成についても、異文化に触れながら自国の文化についての理解を深める内容が取り入れられていたり、聞く・話す・読む・書くという段階的な学習活動が設定され「慣れ親しみ」から「活用する」へ構成されたりするなど、内容構成や配列・分量などが工夫されている。</p> <p>しかしながら、第 1、第 2 図書は、学習活動の段階の定型化や教科横断的な内容設定などに優位性が見られた。そこで全体的にみて第 1、第 2 の図書を選択した。</p> <p>第 1 図書は、各単元とも目指す姿を明示し、学習段階ごとに振り返りができるような内容の構成が工夫されている。</p> <p>また、4 線入り単語リストや表現例、ユニットごとの基本表現リスト、書くことに対する支援のため 4 線の第 2 線を点線で示し筆順を示す破線フォントも使用するなど、学習を補助する細かい配慮がなされている。</p> <p>第 2 図書は、2～3 単元をひとまとまりとして単元を貫くゴールを設定するなど習得から活用への思考力・判断力・表現力等を養う言語活動へとイメージしやすい構成の工夫がされている。</p> <p>しかしながら、第 1 図書の方が、名前や単語、文の書き方を示していたり、表現例を 4 線で示していたりするなど、学習を進める上での細かい配慮があるので、優位である。</p>		